

【CL名】 Z さん 【解答者】 アオちゃん 【作成日】 2023年11月9日 【作成時間】 35分

【設問1】事例記録中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

子供のためにもと稼がないといけないので「正社員を目指して方がいいと思うが」、正社員はポジティブなイメージがもたらせるのが不安。子供は大切な存在なので、サポートがでなくなるとは避けたいと思う。

【設問2】1行目：良かった点、2行目：悪かった点 この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

- (良) ランクの15年がかけがえない期間であったことと正社員に対するいろいろな不安を伺えたのが良かった点
(悪) 子供や正社員の働き方への思いを伺うことを優先し、現在のお仕事内容を伺う時間が短かった点

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 家庭と仕事の両立について、何を優先したいのかという価値観の自己理解不足、また、正社員の働き方や仕事内容についての仕事理解不足、及び、登用制度の情報が不足。

②その根拠 「お金も必要だけれど、もと子供のサポートもなければならぬ」、「やりがいもある反面、仕事がある」という発言から自己理解不足、「聞けていない」、「ポジティブなイメージがない」という発言から仕事理解不足、及び、「それも登用試験に合格するの大変らしい」という発言から情報収集不足が考えられる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

お金も必要だけれど子供のサポートの優先順位を下げてはいない相談者の思いに寄り添い、引き続き信頼関係の構築に努める。相談者が家庭と仕事を両立するうえで何を大切にしたいかについて内省を促し、やらなければならぬことに優先順位付けができるよう、一緒に整理させていく。正社員で働いている方に、正社員の働き方について不安なことや不明確なことを聞く機会を提案する。また、正社員登用制度について、上司や人事部などを通じて情報収集を促す。これにより、相談者がワークライフバランスを取りながら、今後の働き方について主体的に意思決定できるよう支援を行う。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述)解答用紙